

---

---

公益社団法人日本交通政策研究会

地方公共交通シンポジウム

# 地方公共交通の維持と活性化

---

---

令和3年2月

このたび、公益社団法人日本交通政策研究会では、下記のとおりシンポジウムを開催いたしますので、ご関心をお持ちの皆様のご出席を賜りますようご案内申し上げます。

## 1. 開催趣旨

自家用車普及の進展や少子高齢化と人口減少などを背景に、営利事業としてのバス路線維持は困難な状況が続いており、中山間地における交通手段の確保は、重要な政策課題の1つと言えます。これまでも地域の実情に合わせた効率的な新サービスを後押しする制度的仕組みは様々な形で存在しました。事業者による新たな地域需要を誘発する取り組みや、地域住民による自主的な交通サービス提供など、事例は全国に数多くあります。

これまで日本交通政策研究会の活動を通じて研究グループでは、バス交通を中心とする各地の公共交通の施策を分析して、全国的視野から評価、検討してきました。その成果の一部は日本交通政策研究会研究双書『地方公共交通の維持と活性化』として2020年8月に刊行されましたが、今回のシンポジウムでは日々業務に取り組んでおられる事業者の生の声も交えながら、地域公共交通の維持策、活性化に向けた最近の動きを議論していきます。

なお、本講演会は、新型コロナまん延防止のため収容人数を制限した会場参加とオンライン配信を併用します。参加ご希望の方は、WEB ないし電子メールにより事前にお申込みください。敬具

2. 開催日時 令和3年3月19日（金）14:00～16:45

3. 開催場所 都市センターホテル 6F 606号室／オンライン併用  
東京都千代田区平河町2-4-1 TEL：03-3265-8211  
アクセス：<https://www.rihga.co.jp/toshicenter/access>

4. 主催者 公益社団法人日本交通政策研究会

5. 参加費 無料

6. 参加申込 WEB ないし電子メールにより事前にお申込みください。  
※オンライン参加をご希望の方には申込時に記載のあったメールアドレス宛に視聴用URLを送信します。  
※定員（会場：30名、オンライン：100名）に達した場合、お断りすることがありますので、予めご了承ください。

## 7. プログラム

- 14:00~14:05 開会挨拶 森本章倫（日本交通政策研究会常務理事）
- 14:05~14:35 プレゼン 1 持続可能なバスを目指して  
小坂祐司（全但バス）
- 14:35~15:05 プレゼン 2 持続ある公共交通維持策に向けた施策  
青木 亮（東京経済大学）
- 15:05~15:15 休憩（10 分間）
- 15:15~16:45 パネルディスカッション  
テーマ「地方公共交通の維持と活性化」  
  
コーディネーター 青木 亮（前出）  
  
パネリスト 小坂祐司（前出）  
  
同上 平田一彦（関越交通）  
  
同上 高橋愛典（近畿大学）  
  
同上 岡山 慎（養父市役所） or 野村 実（大谷大学）

※プログラムは予告なく変更される場合があります

お問合せ先：公益社団法人 日本交通政策研究会  
E-mail： [office@nikkoken.or.jp](mailto:office@nikkoken.or.jp)  
Website： <http://www.nikkoken.or.jp/>